

人はなぜ失敗をするのか

農作業事故だけでなく、物事が正常に進行しているときには事故はめったに起こりません。どこかに不具合が発生したときに正常に戻すことができれば事故にはなりません。しかし「人は失敗をする動物」といわれていますから、失敗を完全になくす、すなわちヒューマンエラーを起こさない、ことはできませんが、問題が起こらないように防ぐことは可能です。

失敗の原因として、うっかり、勘違い、不注意、などの言葉で片付けられることが多いのですが、もっと深く分析すると、不安全行動から起こるもの、情報処理過程でのエラー、心理的背景によるものなどが考えられます。

(1) 不安全行動からのエラー

省略(やるべき行動を抜かす)または脱落(やるべき動作を行わない)のエラー、選択のエラー(操作をしたが誤った、余計なことをした)、順序のエラー(手順書に従わなかった)、時間のエラー(操作のタイミングが適正ではなかった)。

(2) 情報処理過程でのエラー

認知・確認のミス/入力エラー(感覚・知覚の際の工

ラー、見間違い、聞き違いなど)

判断・決定のミス/媒介エラー(情報の媒介、処理の段階のエラー、判断の狂い、意図的な規制違反など)

操作・動作のミス/出力エラー(体による反応を起こす際のエラー、未熟な操作、動作の失敗など)の三つが基本ですが、その背景として、懸命ミス(忠実・真目に取り組み過ぎるため)、確信ミス(疑いもなく間違いに突き進む)、焦燥ミス(時間との競争で判断を誤る)、放心ミス(単調、退屈、心配などが意識を低下させる)、多忙ミス(困難な業務を短時間でこなそうとする)、無知ミス(知識・理解の不足から起きる)、があります。

(3) 心理的背景

判断の甘さ(相手は知っているはず)、習慣的操作(反射的に操作した)、思い込み・省略(いつもと同じと信じていた)。

思い当たりませんか?



高齢者の活躍する場面は

人口構成が高齢化していることは周知の事実であり、農業従事者については一般社会よりも高い割合で高齢化が進んでいます。普通の産業では、就業者は65歳前後までになっていますが、農業では60歳以上の割合がとても多く、就業構造がゆがんでいるといえます。

若い後継者が増えれば、高齢者への農業生産依存が減ると考えられますが、政策的には何の対策も取られていません。当面は高齢者に日本農業を支えていただくより他はなさそうです。

といっても、加齢により身体機能が低下することは事実であり、それらへの理解と対応が低いことによる農作業事故の発生も数多く見られます。身体機能が低下するとはいうものの、動作の正確さ、情緒の安定、責任感、経験の豊かさから総合的に物事を判断しようとする慎重さなど実際面での有利な点もあり、また、職業に従事して身体機能の低下を抑制することも可能です。高齢を理由に作業から排除したり、必要以上に過保護にした

りすることは社会的にも健康面からも好ましいことではありません。

身体機能が低下しつつある高齢者にとってできることとできない(できにくい)ことを理解して農作業に取り組むことが大切です。

例えば、脚力の低下と平衡機能の低下はつまずきや転倒を引き起こしやすくなるので、高所作業、傾斜地作業、脚立の昇降は注意が必要です。また、高温環境の作業では心臓血管系の負担が増し、加齢に伴い予備能力が少なくなるため予期されないことが発生した際に順応できず、事故に結び付くことがあります。身体柔軟性の低下に加え、関節の骨組織変形も伴いますので重量物運搬や長時間の不自然な作業姿勢を避けるような工夫と実践も必要です。



乙女座

8/23 ~ 9/22

●【全体運】 のんびり過ごせる期間です。中途半端なまま放置していることは、この機会に片付けて。
● 清掃も好運の呼び水に

●【健康運】 不規則な生活は体調に悪影響が。改善を
●【幸運を呼ぶ食べ物】 小豆